

Q 心不全といわれたのですが、 どうしたらいいですか？

回答：市立貝塚病院

内科部長 中 聡夫 医師



A 心不全(慢性心不全)は何かの原因で心臓に負担がかかった結果、多くの場合日常生活に支障をきたした状態といえます。

心不全(慢性心不全)に関係する病気で心不全になります。

心不全が悪化すると、心臓に血液が戻りにくくなり、肺の血管から肺の中に水分がしみだしてきます。そのため、

肺の中の酸素と二酸化炭素の交換がしにくくなり、息切れがでます。

食事など日常生活の摂生と、治療で悪化を防ぐ

①心臓の栄養血管である冠動脈が詰まって生じた心筋梗塞などの虚血性心疾患、②十分治療されていない高血圧、③心臓内構造物の異常

もっとひどくなるおと手洗いにいたり、顔を洗うだけで息があがるようになってきます。人によっては息切れを

④心臓弁膜症、⑤心臓の筋肉そのものの異常である心筋症、⑥生まれつきの心臓病である

胸が痛いと感じることもあります。重症になれば心臓から全身に血液がいきこくなるた

先天性心疾患など心臓

め、全身がだるくなり、

身のおきどころのないしんどさがでることもあります。また全身から心臓にかえる血液も戻りにくくなるため、血管(静脈)から水分がしみだし、体のむくみ(両足など)がでてきます。

心不全であれば、極端に塩辛い食事を避ける、運動しすぎを避ける、冬場は風邪予防に努めるなど日常生活での摂生が必要です。また、病院で必要な検査をうけて原因となる病気を診断し、適切な治療をうけることで悪化を防ぐことが十分期待できます。

問 072-4222-5

865 市立貝塚病院

(貝塚市堀3-10-20)

<http://www.hosp.kaitzuka.osaka.jp/>

kaizuka.osaka.jp/

